

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 生涯学習の充実

基本事業 生涯学習関連施設の充実

事業名 **図書館運営管理事業**

[0424]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	対象
課名	情報図書館	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>情報図書館</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・施設が適切に運営管理される。 ・利用者が安全・快適に利用できる。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>情報図書館の運営管理に要する経費</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	年間開館日数(全館)	日	291	290	289	290
活動指標2	運営維持管理経費	千円	61,016	59,083	59,579	64,461
成果指標1	年間資料貸出利用者数	人	208,768	213,185	207,996	209,500
成果指標2	年間資料貸出冊数	冊	905,932	946,331	931,246	934,200
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	61,016	59,082	59,570	64,461
正職員人件費(B)		千円	34,333	34,268	33,607	34,145
総事業費(A) + (B)		千円	95,349	93,350	93,177	98,606

費用内訳	
21年度	報酬 31,374千円、賃金 1,604千円、需用費 10,247千円、役務費 848千円、委託料 14,806千円、使用料及び賃借料 610千円、備品購入費 80千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

図書館法、江別市情報図書館条例などにより資料の収集・整理・保存・提供が定められている。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

生涯学習の充実のため人的・施設の援助を行っている。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

貸出資料数や予約資料数、また来館者数は順調に推移している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

図書館電算システムの更新（経費削減と同時に）より利便性を向上させる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

常に必要最小限度を意識し、経費節減に努めている。